

令和 4 年度 学校評価シート

学校名： 和歌山県立南紀高等学校（定時制） 校長名：坂本 真理

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・生徒が誇りを持ち、地域に信頼され愛される学校
- ・社会に必要なコミュニケーション力や基礎学力を身に付け、粘り強く取り組む力や公平な批判力を持つ生徒
- ・今の自分や将来の自分を大切にしたいと思える自己肯定感を持ち変化の激しい環境をしなやかに強く生き抜く生徒
- ・社会に参画し地域の担い手になろうとする生徒

学校評価の公表方法

学校運営協議会において分析と説明をし、指導助言をいただくとともに、教育振興会においても評価結果を報告し、ホームページに公表する。

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組				評価（2月14日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策	
1	人間力の向上	B	授業や学校行事等を活用して規範意識を高める。	・集団行動を伴う行事展開の多用や拡大	B	日頃の授業やLHRで学びへの姿勢規範意識を身につけるとともに、今年度は文化祭や球技大会、修学旅行など多くの行事を実施することができ、その中で集団としての力や生徒個々の社会性を育むことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を抱える生徒の情報や対応方法等について、生徒支援委員会と担任や教科担当との情報共有が円滑に行われるよう、ケース会議等の充実を図る。 ・次年度も、学校行事や外部講師講演会やスキルトレーニングを通じて、規範意識やコミュニケーション能力、社会性の向上を図るための活動を、さらに充実させていきたい。 	
			外部人材を活用して、職業観や社会性を高める。	・地域人材やOB等による講師招聘と活用		B		進路セミナーやようこそ先輩、文化祭でのOB講演など外部からの講師を招聘して、学ぶ機会を得ることができた。
			SC、SSWと連携したソーシャルスキルトレーニングを行う。	・実態把握や行動観察を基盤とした実施後の対象生徒の成長を促進させる		B		カウンセリングや生徒個々のケース会議などを行うことで、対象生徒に共通の視点で対応することができた。またSSTを通して生徒の成長を促すこともできた。
			学校と保護者や関係機関との連携を強化し、包括的な育成を目指す。	・家庭や関係機関と連絡を密にした情報共有と蓄積		A		課題を抱える生徒の中には家庭環境が複雑な場合が多く、連絡や協力体制を築くことが困難な場合も多いが、関係機関としっかりと連携し粘り強く生徒に向き合うことができた。
2	学力の向上	B	ICT機器や視聴覚教材、実験実習等を活用するなど、魅力ある授業、楽しい授業、思考を巡らせる授業を展開して、わかりやすい授業の実践を目指す。	・研究授業や参観授業を計画的に実施し、ICT機器の活用や技能向上をねらいとした授業の実践	B	ICT機器を使った授業の研修会を開いて、その後公開授業等を実施することで、互いに授業研究を行うなど技術向上や魅力ある授業作りに努めてきた。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もICTの研修を実施し、1人1台パソコンを活用した授業研究及び実践に取り組んでいく。さらに、その研究や実践の中に主体的、対話的で深い学びを実現できるような活動を取り入れていくよう創意工夫していく。 ・学力向上に向け、引き続きモジュール授業やTT、習熟度別授業を行い、 	
			基礎学力向上のため、学力アップ支援事業の活用や、欠席の多い生徒への補習授業等に取り組む。	・出席状況と学習定着度・補習授業の実施回数増 ・TTや習熟度別授業による工夫		B		学力アップ支援事業を活用することでTTや習熟度別授業を充実させることができた。

学校関係者評価（2月14日実施）

・これからは「検索できる力」が必要になると思います。例えば、Excelソフトを使用する場合、初めてのExcel関数を入力する際に、記憶しているかどうかは重要ではなく、検索して、いかに早くその関数を見つけることができるかが求められると思います。ICT活用の授業をされるのであれば、カリキュラムに取り入れることを検討してもよいかと思っています。

・大学を卒業したのに満足に手紙を書くことができない新入社員が増えてきたとよく聞きます。お中元、お歳暮、新年の挨拶など手書きの礼状に特別な思いを抱く経営者もいる中で、ビジネスマナーとしても、日本の文化としても手紙の書き方などの授業があればと思います。

・専門的な教育用語が難しく、一般の視点からもわかりやすい表記の工夫をお願いします。例えば、日本語表記（カタカナ、アルファベット表記）のように記載いただくと分かりやすいと思います。

・アンケートの回答について、生徒を見る機会が少ないため、とても難しく思います。抽象的な問いではなく、具体的な問いがあればと思います。また、卒業生へのアンケートの実施ができれば、学校評価への理解が深まると思います。

・地元就職する生徒も多いので、地元との繋がりや友だち、先輩、後輩といった自分以外の誰かとの関係性を大切にしてほしいと思います。周囲との交流を深めることで、様々なアドバイスや知恵、知識を学ぶことができます。ネットワークを大切にしてほしいと思います。

・性教育などは、実施時期や内容を十分検討して実施してほしい。

			<p>新学習指導要領に基づいた、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力を育む授業実践に取り組む。</p>	<p>・振り返り学習、主体的・対話的で深い学びを実現するための学習活動を多く取り入れた授業の実践</p>	B	<p>校内研修会や日頃の授業の中で、ICT機器を使って主体的・対話的で深い学びの実現について研究、実践することができた。</p>	<p>1人1人に合った指導や学習支援を実践していく。</p>	
3	自律性・社会性の育成	B	<p>ネットでの誹謗中傷に対する講演や校内研修、現職教育の充実による、教員のスキルアップに取り組む。</p>	<p>・生徒指導部、生徒支援委員会を中心に、各種講演や研修を行う。</p>	B	<p>人権学習やいじめアンケートの実施、文化祭でのパフォーマンス等で人権意識の高揚に努めた。</p>	<p>・人権が尊重され、生徒が安心して通える学校づくりを推進する。 ・生徒も多様性を受け入れられるように、人権意識の高揚に繋がる講演会等をより充実させる。 ・定通連携を推進する教育課程の充実を図るとともに、引き続き生徒支援の体制充実も図っていく。</p>	
			<p>定時制通信制の課程を併せ持つ学校として、教育課程に工夫と特色を出し、機能させる。</p>	<p>・定通連携を充実させた教育課程が機能しているか。</p>	B	<p>カリキュラム委員会や教務部を中心として、定併修や定通併修等、教育課程の協力体制が機能した。</p>		